

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2026年3月31日	評価番号	A-426		
評価技術名称					連絡先					
構造用合板補強工法					http://www.					
真壁「1間 横使い」アルミ材下地					〒					
					電話		Fax			
概要	技術概要									
	構造用合板を横向きで用いて、1間の壁面を裏棧なしアルミアングル下地の真壁仕様で補強する工法。									
	技術の特徴						コスト			
	<ul style="list-style-type: none"> 1間の間に柱がない真壁に有効。 一般流通品なので取り扱いが容易。 						サンプル構面 63,092 円/kN			
設計見積り例						-				
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関					
機関名					名古屋工業大学					
評価番号					その他					
評価取得日										
仕様	適用範囲				写真・図					
	構法		木造在来軸組工法							
	規模		3階建て以下							
	基礎、地盤		特になし							
	適用部位		内外壁							
	その他		特になし							
	主要構成部材の仕様									
	構造用合板 厚 12mm 以上 横使い					悪い納まり例 ×				
	タッピングビス φ3×L30、木ビス(コーススレッド) φ3.8×L32、セルフドリルネジ φ4×L30 のいずれか @100mm 以下、四周打ち									
	アルミ不等辺アングル 9×40 t=1.5 またはこれ以上のサイズのもの					木ビスはアルミアングル短辺の中央付近に打たず、なるべくコーナー付近に打つ				
JIS H4100 の A6063-T5 材(アルミ建築構造設計基準で AS110 材)またはこれと同等の強度を有するもの										
木ビス(コーススレッド) φ3.8×L32、先孔 φ3 アングル角部を斜め打ち、@100mm 以下										
耐震性能										
評価仕様: アルミアングル下地 真壁仕様										
壁基準耐力		壁基準剛性								
2.08kN/m		292kN/rad.m								
A-111 からの低減係数 α = 0.4										
壁基準耐力 5.2×0.4=2.08										
設計方法										
①柱接合部による低減										
取付部分が健全であること										
②劣化による低減										
取付部分が健全であること										
施工者指定										
特になし										
その他										
H28 年度 ビスの種類追加										